

育てよう

鏡野のよい子シリーズ



「自分らしさ」

鏡野町に赴任して、二年目になりました。毎日、鏡野の広大な景色や大野小学校の子どもたちの元気の良いさにパワーをもらっています。今回、広報「かがみの」の担当になり、何について書こうかと悩みました。書いた文章を隣の席の先生に読んでいただいた時、

「安藤先生らしさがないね。」

と言われました。その言葉を聞いて、ふと自分らしさって何だろうと考えました。結局、これという自分らしさが出て来ず、先日五年生の子どもたちとした道徳の授業を思い出しました。道徳の時間にあなたの良いところは何かと子どもたちと問いかけると子どもたち一人一人に良いところがありこんな良いところがあるよねと伝えることがあります。子どもたちは、「うーん。」と私と同じように悩み、しばらくしてノートに書いていました。「すぐに諦めないところ」、「友だちに優しくできるところ」、「すぐ手助けができるところ」、「大きな声で挨拶ができること」など

など。これらを見た時に、五年生の子どもたちの姿からなるほどとすぐ納得できるとともに、大野小学校が目指している子どもたちの姿にもつながっているなど感じました。また、さっとそれがその子の自分らしさなんだらうなと思いました。

普段、自分の良さには気づきにくいものですが、自分で見つけた自分の良さは、自分の強みでもあり、自分らしさでもあると思います。自分の良さや自分らしさは、みんなと一緒に生活するからこそ意識できるものです。これから子どもたちと一緒に学校生活を送る中で、子どもたちが見つけた自分の良さをお互いに認め合うことで自分らしさを大切にできる学級づくりに努めていくとともに、私自身の良さや、自分らしさもきつと子どもたちが見つけさせてくれるだろうと期待しながら毎日を楽しんでいきたいと思っています。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会

大野小学校 安藤 紗矢

のびのびひろば

～おんやまへのぼろう～



もうちょっと！がんばれがんばれ！険しい山道も頑張って登ります。



男山頂上からの風景

こどもえんがみえた！



頂上で記念撮影☆



ヤッホー!!



こんにちは！いってきます！



山の神様に
ごあいさつ



♪おんやまめんやま のぼろうよ
広い世界がまっている
やさしい気持ち がんばる気持ち
みんな笑顔の中央の子
園歌の一節。
子どもたちへの願いが込められています。

かがみの中央こども園では、月に1回、年長児が男山のぼりに挑戦します。これは大野保育所時代から約20年以上続く、園ならではの伝統行事です。

いつも園庭から眺める男山に、四季折々の自然に触れながら、自分の足で登り、頂上を目指します。仲間と励まし合い、登り切った達成感やそこから見える景色は格別！男山の頂上から自分たちの町を見渡し、思わず「ヤッホー!!」と呼びかける子ども達です。

秋には年中児も一緒に登る予定です。「おんやまってな…」[「のぼるときはな…」と次の代へと受け継がれていく、かがみの中央こども園の男山のぼりです。



登山中、男山にのぼろう会の方と会うこともあります。

(かがみの中央こども園)